



～9月のクラスだより～



【9月の保育のねらい】

- ・安心できる保育者のそばで食べさせてもらったり、手づかみやスプーンで意欲的に食べる。

ひよこ組

<こどもたちの大好きなごはんの時間>

こどもたちも中期、後期、完了食と段階を踏み、色々な食事形態に慣れてきて食事の量も増えてきています。こどもたちは食べることが大好きで、食事の時間になってワゴンが来ると食事スペースの前に集まり、「今日のメニューは何か？」といつも期待しながら楽しみに待っています。

自分で食べたい意欲が強くなり、小皿に大根や肉団子などつかみやすい物をのせてもらおうと一生懸命つかんで食べています。両手でコップを持って汁物を飲むのが上手になり、自分で出来た時はとても満足そうです。自分が欲しい物は声を出したり、指差して要求します。食べさせてもらう時は口を大きく開けて待ち、モグモグと咀嚼して食べるようになりました。

一日の生活リズムが整い、毎日少しずつ出来ることが増えていっています。1歳を過ぎるとイヤイヤなどが始まる時期ではありますが、焦らず食事の時間を楽しく過ごせたらと思います。



ちゅうりっぷ組

【9月の保育のねらい】

- ・自分なりのイメージをもって、作ること、描くことを楽しむ。
- ・食具を正しく持ち、姿勢よく食事をする。

<初めてのクッキング>

初めてのクッキングは栽培したミニトマトを使って、餃子の皮ピザを作ってみることにしました。カレンダーを見るたびに「クッキング楽しみだね」「早くピザ作りたいね！」と心待ちにしているこどもたちです。当日は憧れの調理さんのようにエプロンや三角巾を付け、ドキドキ、わくわく、どこか誇らしげな表情です。皮にケチャップを塗って、トッピングを乗せて焼けるのを待ちます。手はしっかり洗う、顔や髪は触らない、ホットプレートは熱いこと、包丁は危ないことなど、よく話や説明を聞いて一生懸命取り組むこどもたちでした。できあがりパリラッという音で、「まだ食べたい」と泣く子もいるくらい、美味しかったようです。

もっと作りたいそうだったので、その日の夕方は画用紙でピザを作って遊んでみました。シールやペンで具材を乗せて、ホットプレートに見立てた画用紙で焼きます。保育士のようにフライ返しですくって事務所やさくら組にお届けし、ごっこ遊びを楽しみました。

大好評だったのでまた別の日にもやってみました。こどもたちのリクエストで、栽培したオクラも乗せて食べてみました！！これからも色々な食材でクッキングを楽しんでいけたらと思います。



りす組

【9月の保育のねらい】

- ・水、氷、砂、泥など、触りながら気持ちを開放させ、のびのびと遊ぶ。
- ・保育者と言葉のやりとりを楽しむ。

<氷に興味津々!!>

朝、「今日は何してあそぼうか。」とこどもたちに話すと「お水やりたい!」「ピチャピチャする!」とすっかり水に慣れ、水遊びを楽しみにしています。水遊びが出来ない日は室内でも冷たい感触を味わえるよう、氷を用意して遊んでいます。「なんだろう?」と不思議そうにそーっと触る子、「こおり!」「つめたーい!」とためらうことなく触ってみる子、思い思いに氷を手に取り、水とは違う感触に興味津々で、間近で見て触って冷たさを味わっています。

氷をスプーンですくって容器や袋に入れることも楽しく、入れられると嬉しそうに笑い、見せてくれます。「いっぱい」「もっと!」「つめたーいね」「あまいよ」「かたい!」など自分の思いを簡単な言葉で伝えられることも増えてきました。こどもたちの遊びや言葉に共感しながら、一緒に水・氷遊びを楽しんだ夏でした。今月は砂・泥遊びもしていきたいと思っています。



さくら組

【9月の保育のねらい】

- ・リズム運動の動きを確認しながら、リズム運動を楽しむ。(保育の中で少しずつ取り入れていきます。)
- ・散歩の行き帰りの道を交通ルールを意識しながら友だちと手をつないで歩く。

<プール遊び>

7月から始まったプール遊び。当初は「頭には(シャワーの水を)掛けないで〜」「水が飛んでる(のが嫌なの!）」という声も多く聞かれていましたが、1か月も経つと随分遅くなり、思いきりバタ足をして水しぶきがあがっても、顔にかかることをむしろ楽しんでる様子が多くみられています。リズム運動の曲を歌う保育者の声に合わせて身体を動かす遊びでは、『あひる』で歌に合わせて水面に顔を付けることができるようになった子もおり、水面からパッと顔をあげた時の表情からは自信がにじんでいるようにも見えます。他にも、みんなでグルグルと歩きプールに水流を起こして『ワニ』になったり、『うさぎ』『かえる』の歌にあわせてジャンプしたりと、水の中での遊びを楽しんでいます。特に人気な遊びは(おはじき拾い)で、「もうこんなに拾っちゃった〜」と得意な表情を見せたり、「水に透明なやついれたら、ジュースみたいになった!」と水とプラスチックの組み合わせ合わせた色合いに興味をもったりと、それぞれの関心や楽しさを見つけて遊ぶことができていました。

もうすぐ今年のプールは終わってしまいますが、この夏をたっぷり楽しむことで、秋の遊びを積極的に楽しめる気持ちに繋がればいいなと思っています。



うさぎ組

【9月の保育のねらい】

- ・糊やはさみを使って制作を楽しむ。
- ・保育者や友だちと言葉のやりとりを楽しむ。

<制作を楽しんでいます!>

うさぎ組になり、糊を使ったり、シール貼りや描画など日常的に制作する機会が増えました。

保育士が準備を始めると「なにになに〜?」「私もやりたい」と次々にやって来るこどもたち。

糊を使い始めた頃は、適量がまだ分からず、指に沢山付けて「ベタベタだ〜」と言い画用紙を糊で埋めていたこどもたちでしたが、うちわの制作や七夕飾りの制作などを通して段々と「糊はちょっとなんだよね」「このくらい?」と保育士に聞き少量を指に付けられるようになってきました。

今後は、はさみを使った制作も考えています。まずは一回切りからチャレンジしていきます、段々とはさみに慣れていけたらいいなと思っています。

これからも安全に考慮しながら季節に合った様々な制作をこどもたちと一緒に楽しんでいきたいです。



もみじ組

【9月の保育のねらい】

- ・友だちと目的に向かって意欲的に取り組んだり、達成感や充実感を味わい自信をもつ。
- ・友だちと励まし合ったり、認めていく気持ちをもつ。

<気持ちよく跳んでいます>

5月頃から縄跳びに興味を持ち始め、園庭の縄跳びで練習するようになりました。一番に手作り縄跳びを作った子が跳んでいる写真を見たことをきっかけに、「縄跳びにカラフルな色がついていると跳んでいることが良くわかる!」と気づいたこどもたち。自分で好きな色を選び「作りたい!」「やってみよう!」と積極的になり、もみじ組全員が『自分の縄跳び』を作り、練習を始めました。

それから毎日毎日練習し、今では、もみじ組の全員が走りどび・前跳びを跳べるようになりました。更に上手く跳べるようになると気持ちがいいようで、跳び終わるととても満足気な表情です。その気持ちが次への意欲に繋がっているのですね。後ろ跳び、ケンケン跳び、2人跳び、その場走り跳びなど挑戦する姿がどんどん増え自信になっているようです。

跳べるようになるとすぐに友だちに見て欲しいのか、積極的に「〇〇跳びやりたい!」と言い、みんなの前で披露するようになってきました。今では跳べる自分を見てもらいたい、「運動会で跳びたい!」と張り切っているこどもたちです。

